

シールド線用避雷器

■ 型式

SE-100

■ 用途

伝送装置の各極ごとの非接地シールド端からの放電阻止対策
電動弁など誘導負荷による接点サージ防護
直流リレーコイルの逆起電圧防護

■ 性能

最大連続使用電圧 U_c	DC170V AC130V
動作開始電圧 (1mA時の電圧)	200V±10%
電圧防護レベル U_p	340V以下
最大放電電流 I_{max}	8kA (8/20 μ s) 1線あたり
漏れ電流	5 μ A以下(U_c にて)

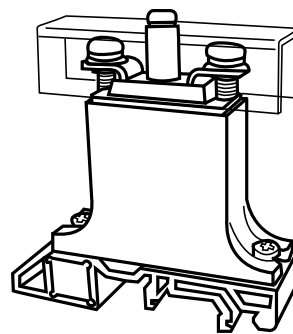
■ 対応規格

JIS C 5381-1 クラスII

RoHS指令適合

■ 特長

- ・コンパクトな形状で大きなサージ電流耐量
- ・端子カバー付き
- ・確実な保護効果を得ることができる、低い制限電圧



■ 機器仕様

使用温度範囲：-40～+85℃

使用湿度範囲：5～85%RH以下(結露しないこと)

本体寸法：W14×H48×D54 (カバー、ネジ含む)

ブラケット寸法：W18×H60×D12

重量：約38g

■ 接続仕様

接続方法：M4ネジ端子接続

端子ねじ材質：M4-8ねじ端子接続+SW付

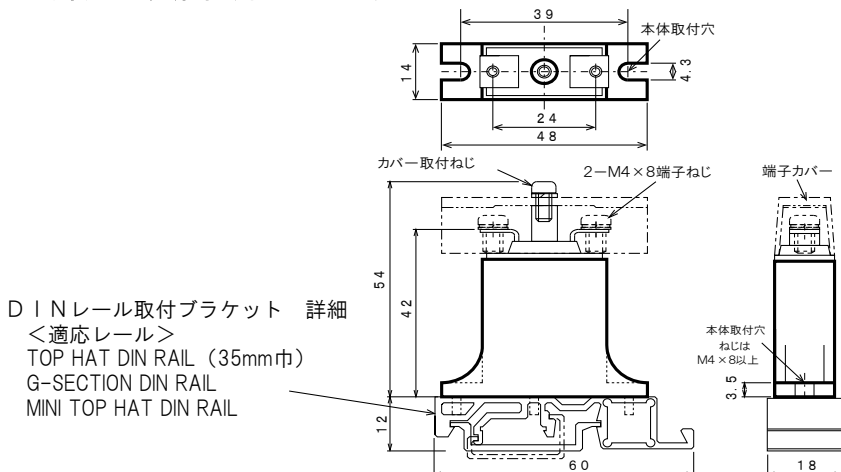
取付：DINレール取付(35mm幅)、直付け

ハウジング材質：難燃性樹脂_黒 樹脂モールド

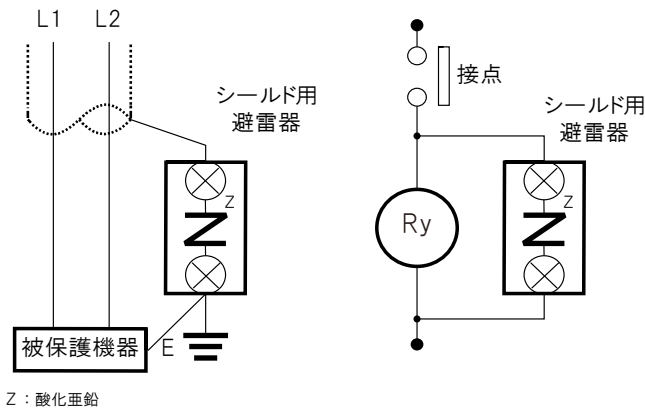
■ 付属品

透明端子カバー	ポリカーボネート(UL94V-2)	1個
カバー取付ねじ	M3_Fe + ナベ頭	1個
端子ねじ	M4_Bs + ナベ頭	2個
DINレール取付けブラケット		1個
DINレール取付けブラケット用タッピングネジ		2個

■ 外形寸法図 (単位：mm)



■ ブロック図



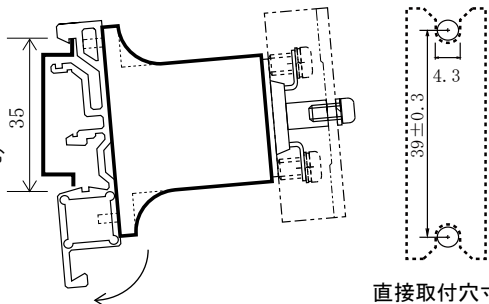
シールド線用避雷器

本器はシールドケーブルを通過してきた誘導雷サージを吸収し、電気通信機器を保護する避雷器です。

■ 取付方法

DINレール(35mm幅)
取付可能

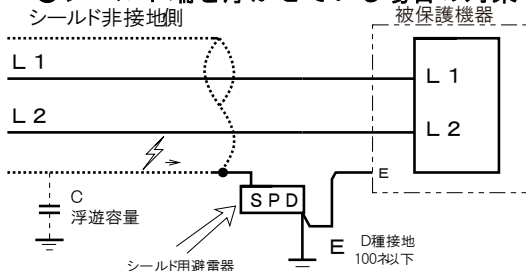
- ①上部の溝に掛ける
- ②下部の溝に押しこむ



直接取付寸法

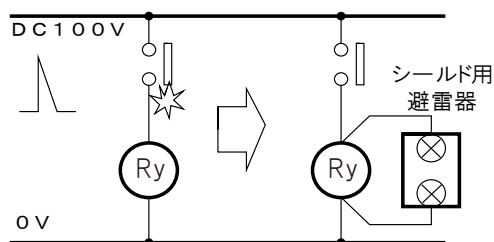
■ 接続例

●シールド端を浮かせている場合の対策



現場によってはノイズ対策のために、片方のシールド線を接続していない(浮かせている)場合があります。ですが、シールド線にC(浮遊容量)が溜まっているため、雷サージが来た際に機器に飛ぶ危険性があります。シールド用避雷器を設置することで過電圧をアースへ逃がします。

●マグネットリレーなどの誘導負荷による対策



誘導負荷による過電圧は10~20倍位になります。接点がON状態になるとスパークで溶着することがあります。シールド用避雷器をリレーの両端に設置することで、過電圧を抑えて溶着を防ぎます。

■ 使用上の注意事項

- 【接地】ケーブルのサイズは2.0sq以上、D種(100Ω以下)にて必ず行って、避雷針アースや高圧電力アースとの共用は避けて下さい。
- 【ネジ締め】ネジの緩みがないよう注意して下さい。接合部で放電を起こし、高周波、高電圧を発生します。

■ 定期点検の方法

- 【点検時期】わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器が誘導雷サージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。
- 【テスター】避雷器専用の簡易チェッカーCLAシリーズをご使用下さい。各機種によって点検箇所、数値が異なりますので、詳しくは弊社HP「点検方法資料」よりご確認下さい。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承下さい。